



R I 会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会 長

関 正己

幹 事

漆原 摂子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委 員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

1月13日(金)のプログラム

クラブフォーラム

1月の例会予定

・1月20日(休会、21日に振替)

・1月21日(職場訪問)

(株)西川大原工場、ポッポの丘

・1月27日(ゲスト卓話)

市会議員 戸坂健一氏卓話

2月の例会予定

・2月3日(クラブフォーラム)

・2月10日(会員 or ゲスト卓話)

・2月13日(IM)

・2月17日(休会、IMに振替)

・2月24日(会員 or ゲスト卓話)

会長挨拶 関正己会長



このところロータリーも正月のせい、新しいニュースは聞きません。が、新聞を見ますと、国内も世界も今までになく、ざわついているのが目につきます。この一年が無事であればと願います。昨日のテレビを見ていましたら、大学教授の研究にて、地層を探る事に依って過去の震災、とりわけ津波の歴史が解明されつつあるようです。それに依りますと、2000年前の東南海地震では過去に例を見ない最大の津波が押し寄せた事が解ったそうです。通常の300年に一度の津波の3倍に値する大津波が発生したとの事でした。いつ起きても不思議ではない東南海沖地震、原発もあり先の事が心配ですね。

福島第一原発もかろうじて、冷温停止との事ですが、3.11の4日後の15日首相が東電本社に出向き、原発を放棄したら、何か月後にはすべての原発、核廃棄物が崩壊してチェルノブイリの2倍から3倍のものが10基から20基と合わさり、日本の国が崩壊する。何としても、命がけでこの状況を抑え込め、逃げるなど激を飛ばしたといわれています。最初の時点で250km圏内は避難との考えもあったようです。それは、東京全土、千葉県も勝浦位までがその範囲に入りましたね。情報の早かった外国人は自国に皆避難しました。日本人だけが、妙な落ち着き用でしたが、情報が正確に伝えられなかったのですね。

いずれにしても、情報は大事です、皆さん注意しましょう。本日は、例会終了後、水野敬泰氏とRID3720(韓国：馬山地域)地区国外研修生を成田迄受け入れに行ってきます。14日の成田高校までは岩瀬氏と送り、迎えは池田氏、15日は岩瀬氏といずれも成田迄の予定です。先日も言いましたように、クラブにも学校にも観えませんが、とりあえずやる事だけは、やっておきます。後の意見はガバナー補佐に代表して述べていただきます。

幹事報告 漆原摂子幹事

1. RI日本事務局より1月Rレート 1ドル=78円
2. R財団より、クレジット機能付のR-カードを使用すると、その利用代金の1.3%を東日本復興基金へ回すことが決定された。

3. 日本ロータリー-新睦ゴルフ案内 3月12日(月) 沖縄・琉球 GC 登録料 15,000 円、プレー費 15,000 円 希望者は幹事まで(2月10日締切)
4. 高山裕紹会員は、12月末をもって退会。
5. 次週例会は、21日(土)職業奉仕移動例会へ変更。

委員会報告

会長エレクト 古川 範男君



足掛け2年がかりで、ようやく50年度の委員長人事が固まりました。幸い、今日は野田改造内閣の発足の日でありますけれども、時間のかけ方はこちらの方がはるかにかかっています。それと同時に、野田改造内閣の予想される顔ぶれよりはこちらの委員長人事の方が、常識に溢れた、又まともな人材がそろっているという風感じられます。簡単に、上から名前だけを読み上げます。

会員選考	浅野玄航さん
会員増強	高梨薫敏さん
ロータリー情報	西尾誠さん、関一憲さん、関正巳さん
出席	前田安彦さん
親睦活動	手塚明宏さん
クラブ会報	小林悠紀さん
プログラム	千葉正徳さん
雑誌広報	齋藤豊久さん
職業奉仕	渡邊ヒロ子さん
社会奉仕	齋藤麻美子さん
新世代育成	渡邊昌俊さん
インターアクト	岩瀬文夫さん
国際奉仕	西川佳璋さん
ロータリー財団	関 一憲さん
米山記念奨学会	君塚七郎さん

50周年、なんとかこのメンバーで乗り切りたいと思います。よろしくお願ひします。

ニコニコBOX

本人誕生日

関 一憲君



僕の誕生日は1月8日なんですけども、昔は始業式でバタバタしていて、あまり覚えてられなくてみんなには忘れられている誕生日でした。昨年からFacebookを始めまして、始めてから今回が初めての誕生日だったのですが、いろんなところで繋がってしまっていて、何十通もメールが来ました。ありがたいなと思いました。

配偶者誕生日

関 正夫君



今年も頂けたのはありがたい事だと思います。私同様、だいぶ衰えてはきていると思いますが、たまに衰えを防ぐためにそこらの山を歩きに行っています。この間、あの辺を歩いている人がイノシシに襲われたみたいでしたが、私たち老骨には、イノシシも相手にしてくれませんでした。そういう訳です。ありがとうございます。

古川 範男君

50を過ぎてからはお互いに忘れようって事で歳はもうわかりません。ただ長年一緒に居ることは居るので、中国のことわざで長年一緒に居るとお互いを補い合うという事で、「空にあっては比翼の鳥となり、地にあっては連理の枝となる」というのがあります。これは、比翼の鳥というのは2羽の鳥がいるんですけど、翼が片方しかなく、2羽合わせて1羽分、つまり一心同体だよという事なのです。そういう風にもう何十年もきているわけですけども、そうすると言うことやること全て同じ

になってきます。たまに「あ、そうだ。温泉に行こう」なんて言うと「私も同じ事考えてた」などということがあるんですよ、本当に。お互いに補いながら、あと何十年生きられるかわかりませんが一緒に生きたいという風に考えております。よろしく申し上げます。

自主申告

関 一憲君



「ロータリー あなたも新しい風に」という新会員を告知するための、雑誌ですかね。ロータリーの事務局が発行しているのですが、この6ページに昨年のエンジンの写真が載っていて、勝浦ロータリー入ってますので、ぜひこれを持って50周年に向け新会員獲得できればと思います。

西川 佳璋君



いつも変わらないお話で恐縮なのですが、今日のロータリーの友、「臓器提供と移植」に関する記事が載っています。臓器移植の状況が記載されていますが、最後に書いてある事柄が、ご自宅にお帰りになりましたら、ご家族でよくご相談して健康保険証の裏に臓器提供を許すという記載の欄がありますので、どうか記載をすることをご家族で相談しよく考えたうえでご検討いただくことをお願い申し上げます。私もまだ検討中でございます。

クラブフォーラム

<50周年について>

古川 範男君



今じわじわとこういう言葉が膾炙し始めております。「ルサンチマン」という言葉ですが、お聞きになった事はあると思います。これは哲学者のニーチェが使った言葉でフランス語なのですが、なぜドイツ人のニーチェがフランス語を使ったのかわかりません。どういう意味かということ、持たざる者、弱い者、そういう人達の不平・不満、怒り、こういうものが世界中で積もり積もってきています。何かのきっかけでこれは爆発するんですね。フランス市民革命もそうでした。またアメリカでもウォールストリートあたりで泊まり込みが起こったり、いろんなところでデモが起こったり、そして日本では大阪の市長が当選したり、その前には名古屋市長が同じような仕掛けを作りまして、このルサンチマンを上手く吸収してきたわけです。いろんなところに、日本でも膨らんできています。これを放っておくと、昔ならば右傾化して端隅へいったりする恐れのあるものですが、今怖いのは、このルサンチマンを吸収するべき受け皿というものがなくなっているということです。世紀の貧困、そして経済の危機、いろんなことからルサンチマンが野放しにされている、それはロータリーも同じだと思います。今日本を恐れさせている2つの危機、1つは国家財政の破たん。これはいつ起こってもおかしくない状況にあります。そして大事動乱。この20年、30年のスパンで考えればこれから大きな地震が頻発してきます。そういう2つの大きな危機を乗り切るに、あまりにも脆弱な政治、そして今の日本には対応しきれないほどの市場経済危機、グローバリズムの残酷な痕、これをどうやって凌いでいくか、という事がそれぞれ大きな課題としてあるわけです。

ロータリーがそれぞれに対応するには、そういう正確なものではない。ならばどうするか。やはり地域に根差して、こういうルサンチマンを少しでも吸収できるような役柄が合うのではないかと私は考えております。ロータリーに携わる人たちの、ロータリーに対する熱い想い、こういったものを上手く汲み取ってそれを変な方向へ爆発させないように持っていくのがひとつの役柄ではないかと考えます。幸い50周年という大きな節目ですので、今まで貯めたお金を有効に使って、それらの多くの人たちの期待に応えるのが道筋ではないかと思っております。

鈴木 覚三郎君



早いもので40周年から9年が経ちます。ロータリーはアメリカから来た関係でももちろん100周年もそうですが50周年、その前は25周年と、半分、クォーターという風になっております。そしてお金が少し溜まっているようですが、それが勝浦ロータリーの埋蔵金のようになっているようです。

そして、組織のトップに君臨するのが実行委員長、その脇を固めるのが会長の古川さん、そして中村さん。ある時にぱっと決まって、やはり勝浦ロータリーすごいなと思えました。

ロータリーは次の時代を担う青少年のためにある社会奉仕団体と言っても過言ではないと思っておりますから青少年のためのアドバイザーなんか、村石さんあたり既に考えておられるようです。勝浦ロータリーは素晴らしいクラブということで発表する、大いなるチャンスのだと思います。近隣のクラブを調べますと、あまり会員数も多くなく、周年行事をやっても周年例会くらいなのです。

やりたくてもお金がなく、その度に集めるという形となっているのです。その点勝浦は今まで貯めていたお金がたくさんあるので、こんな時の委員長や会長は、こんなに幸せな時はないなという風に思います。

そんな状況なので、私は委員長や会長の尻の叩き役と言うのは語弊がありますが、そういう風にやりたいと思っております。

村石 愛二君



45周年の時は皆さんお世話になりました。今会員増強委員長になって全然会員増強出来ていない中で、自信持って言える話ではなんですけども、45周年の時には、南房総に住んでいる外国人の方から作文を募集して、その入賞作を書いた方達でディスカッションをしていただきました。

50周年では水野実行委員長と高梨副実行委員長がいろんな企画を用意していると思いますが、私個人的な希望としては、震災以降なかなか厳しい状況が続いているのですけども、あと1年と2ヶ月、3ヶ月経った頃ですよ。房総の未来、という風に前は言いましたが、房総の夢について考えることがあります。

例えば交換学生の、前田さんの息子さん。交換学生でニュージーランドに行って英語を一生懸命勉強して将来はパイロットになりたいと。そのパイロットになりたい夢を、確かヘリコプターの免許から始めて小型の飛行機、それからジェット旅客機の、今副操縦士になっているというのです。

そうやって夢を実現した人がすぐ身近にいます。それからいすみ鉄道の今の社長というの、小学生の頃からの鉄道マニアだったんだけど、子どもの頃の夢を今まさに実現しています。

そして運転手養成費用700万円を自分で出してまで運転手になりたい人を募集しています。

ですから、夢を追い求めたり実現したり、そういう事をしてきたような何人かの人たちをゲストにお招きしてディスカッションしてもらおうとかなんかだと、公明な方を高い講習料を払ってお呼びするよりは、身近な方をお呼びした方がいいのではないかと思います。

水野 敬泰君



いろんなご意見頂戴したかと思うのですが、実は私と高梨さんの50周年ということに対しての接点というのは、10分までいってないくらいの接点しかありません。

その中で出てきたのはやはり3.11の大震災。あるいはまた友好都市である那智勝浦の大水害。それらを排除した形での50周年という事だけは、2人の中ではありえないねという風に思っております。その中で、ぜひ皆さまには自主的に被災クラブを支えてくださいますようお願いしたいと。義援金を活用したクラブの取り組み案。ひとつとして、皆さんのクラブで義援金を活用した場合、どのような活動をしようとお考えですか。その活動は他のクラブ、すなわち地区内外を問わず平等に行えるものですか。皆さんもご存じのとおり、震災の直後支援物資を東北の方へ送りましたよね。

齊藤麻美子さんのトラック、そこに声をかけたところ皆さんの友情が花開いて、ぐーんと支援物資が集まりました。いろんな苦難を乗り越えて、そして着いた所が気仙沼。勝浦と気仙沼というのはそうでなくても水産業で大変強い、絆といえるまでの繋がりがあります。気仙沼ロータリークラブでは今、震災復興委員会というものができております。

私の勝手ではありますがそこを窓口として、支援などする際には手伝っていただけますかと話したところ、ぜひ喜んでお受けしますという返事が返ってきております。

今後、委員会などを開催しまして、どういう形で取り組んでいくか話し合っていきたいと思っております。私どもの50周年という節目にみんなが幸せだと思えるような年にしたいと。その原動力となる、お金の話など、皆さんで考えて、知恵を出し合って、そしてそれをやっていく中に実は村石さんの提案した件も盛り込んでいけるのではないかなと考えております。こういう風にやっていきたいと思っております。あんまり飛躍した事はできませんが一生懸命やりますので、皆さんと一緒に考えなが

らできたらと思っております。ぜひ、皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

関 正巳会長

皆さんそれぞれ長く語っていただき、頼もしい限りでございます。ぜひ会員全員が一丸となり、IM、それが終わりましたら、IMでエンジンをかけて次の50周年に向けてフルで馬力を注ぐように皆さんで応援したいと思います。実行委員長の方に考えがありますから聞いていただいて、少しでも、より良い記念式典に持っていければなと思っておりますので、ぜひよろしくお願い致します。

インターアクト交流会



2790地区 3720地区日韓インターアクト交流会
山田ガバナーと李興植ガバナー、手前が令夫人



韓国女子学生のオカリナ演奏



帰国前の我が家で記念写真
奥左から 李収彬、鄭多永、文海仁

職場訪問例会（2012年1月21日土曜日）
 (株)西川 大原工場



業務統括課長鈴木様より熱心に説明いただきました



(有)ムライシポートリーサービス ぽつぽの丘



村石会員より熱心に説明をいただきました



出席報告 1月13日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	26名	5名	6名	83.78%

欠席：浅野玄航、内田秀実、前田安彦、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男